



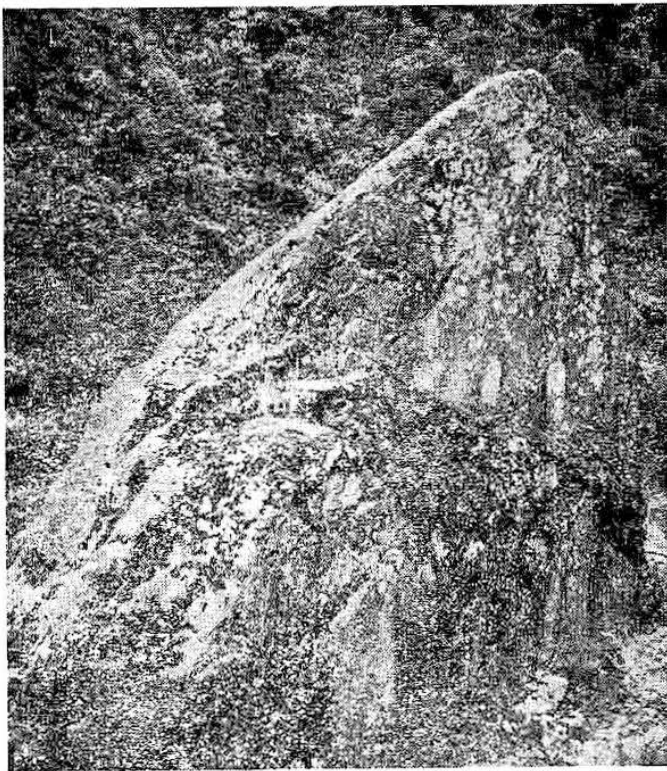
第 2 8 号
二 達 印 刷
大 菅 越 月 20 日
集 兼 行 人 大 菅 越 月 20 日
編 日 町 場 内 所 毎 月 20 日
朝 刷 刷 所 日
印 行 日
発 行 日
定 価 1 部 6 円 送 料 4 円

郷土の伝説めぐり

笹川の部 (二)

「一足とび」と大蛇

七郎右エ門淵より少し上流に「一足とびの背戸」という景勝地がある。黒部峡谷の猿飛びのように兩岸がせ



その右岸の岩頭にはケヤキの巨木があつて、うつそうと一足とびに被いかぶさつて日もなお暗いほどに繁つていた。そして昔からそのケヤキは切つてはならないという伝えがあつた。

当時村一番の剛胆者と呼ばれていた与三五郎という人があつた。あるとき一足とびの近くで炭を焼いていたが原木が不足したのでその切つてはならないといわれていたケヤキを切つて炭やきかまどに入れてしまつた。小屋に泊つたその真夜中、炭やきかまのの様子を見るために与三五郎さんは起きて外へ出た。

ところが炭やきかまから物凄い勢で火焰が昇つてくる。その火焰に照されてキラ／＼と光るものがあるのによくよく見るとそれは物凄く大蛇の両眼であつた。真赤な長い大蛇の舌はペロ／＼と焰をなめていた。

腰を抜かさんばかりに驚いた与三五郎さんは真青になつて夜の山路を飛ぶように村の方へ逃げた。

途中まで来ると道に大きい丸太が横たわつてゐる。おかしいと思つて近づいて見ると材木と思いきやさつきの大蛇であつた。然しきもつたまの太い彼はまゝと目をつぶつてひと飛びに大蛇をとび越えてそのまゝ家に逃げ帰つたという。

その後は別に大蛇の祟りもなかつたようである。笹川では現在でも大蛇の祟を信じている人が故老の間にはかなりあるようである。

観音岩

笹川部落から上流一キロ位、発電所取入口附近の右岸の林道に沿つて大きな家屋くらゐな一大巨岩がきつ立っている。

下流から望見するとこの岩石全体が観音像のように見えるので村人もいつしか観音岩と称して尊敬するようになった。この観音岩についての新しい物語り。

大正十一年笹川発電所が建設されたとき左岸の水路の取入口と右岸との交通のためつり橋を造ることになつた。幸い取入口近くに大きな岩があつたので観音岩とそれとの間につり橋をかけることにした。そこで両方の岩の上に穴をあけて数本の鋼鉄線を通してつり橋を作つた。



十一月一日



- 一三日 産業委員、開発特別委員、行政区画委員一行現地越道峠一帯を視察。
- 一六日 地方自治十周年記念式典に町長、議長、議会書記の黒坂主事補阿部書記参列(東京)境中学校十周年記念式典。
- 一七日 黒部川冷水地帯土地改良区総代会を泊高校講堂にて開催。
- 二〇日 越中宮崎駅の開通式公明選挙「話しあい」の会を開く。
- 二二日 大家庄農協十周年記念式典。
- 二三日 勤労感謝の日。五箇庄農協十周年記念式典。

クリスマス・ツリー、門松の使用

自肅に協力しましょう

我が国の森林は多年の過伐に加えて戦後の復興資材需要のため近年荒廃し年々襲来する台風は国土に甚大な被害を与え山林の荒廃に拍車をかけている現状であります。治山治水国土緑化は今や国家の恒久施策として政府においてもその根本的対策の確立を急ぎ可及的速かに森林の荒廃防止と資源の維持培養を図るよう努めており又民間においても国土緑化推進委員会等の緑化関係団体によつて強く国土緑化の啓蒙運動が進められております。しかるにこのような国土の現状に対し、一方では国土資源の愛護という面を考慮せず、クリスマス・ツリー並びに正月用門松の使用があるといふことは、まことに遺憾に堪えません。大切な資源を無駄に使わず年末年始に当つては各自がよくこの現状を認識し、互にその使用を自粛しこの運動に協力しましょう。

念式典。

二五日 国体勝致に関する寄附金事項についての協議会を町内会長代表者、地区体協会長合同により開催。

二六日 開発特別委員会開催により、関電及び北電各支社より来場。野中地区に於て自衛隊員募集映画会開催。

二七日 農業委員会農地部会を開催。

六日 下新川郡四町の税務研究会開催。

二日 管内遺族会々長会例月会計検査並びに出納立会議員による検査も実施。

越年におもう

金ではなく組織化された社会活動に

一九五八年は政府が計画している「蚊とほえのいない生活」の仕上げの年である。夏の伝染病媒介者であるこれ等昆虫類をなくすることによつて夏の伝染病を駆逐しようと言ふのであるが朝日町でも三十一年度から始めて漸く五分の一実施した。然し、これだけでも伝染病予防に役立ったことは次表に示す通りである。

図に示すとおり日本脳炎など皆無であつた。三十一年度には日本脳炎流行性脳炎が六名も発生し、赤痢、チブス等、合計二十三名も患者を出したが本年はわずか八名で終つたことは農業撤布等による蚊の激減にも原因するが、一般に環境衛生に対する関心が深まつたため、環境衛生と健康状態を積極的に向上させたものと思う。

保健衛生施策の根本は宣伝や補助

伝 染 病 発 生 状 況
32年1月から10月末まで

地区別	赤痢	日本脳炎	ジフテリア	チブス	流行性脳炎	猩紅熱	計
朝日	3人	0人	3人	1人	0人	1人	8人
黒部	11	1	10	1	1	6	30
入善	26	1	8	1	1	0	37
宇奈月	9	0	0	1	0	2	12
舟見	0	0	1	0	0	0	1
計	49	2	22	4	2	9	88



朝日町観光写真展

特 選 一 席

小川温泉元湯 加藤 太郎

よつて肉体的並びに精神的疾病を予防せねばならないもので、あくまでも地域社会の人達の自主的な活動によらねばならないものである。
寄生虫駆除、結核予防、受胎調節等についても町民の理解と協力によつて遂次向上しているが、他町村に比較した場合、非常に遅れている事は事実で、これは町当局の責任でもあるが、町民各位の無理解にもよるもので、ともに反省しなければならぬことである。
生活の基本は健康である。健康を保つためには何をしておいても保健衛生に細心の注意を払つてお互いの健康を増進することが、明るい町づくりであり新生活運動の基盤であると思ふ。

明るく楽しい 年末年始を

青少年の不良化防止

①年末年始における青少年の不良化防止

・友達との夜遊び—とばくに類した遊びはやめましょう。
・飲食店の出入、不純な異性交遊商店の万引など厳にツミしませう。
・女生徒の夜間ひとり歩きはやめましょう。

②第三学期の生活指導

・学校卒業を目前にひかえ、安易な感傷から悲の道におちいらないようにしましょう。
・中学生は卒業まで青年団入団をひかえ、年末年始の会合で飲酒などをつゝしませう。

③児童クラブ母親クラブの結成

・小中を一本として地域に即した児童クラブを育てましょう。

・明るく楽しい環境をつくり不良化を防ぐため手をつないだ母親クラブをつくりましょう。

④スキー学校の開設

・朝日町スキー倶楽部と共催でスキー学校を開きます。心も身体も健かな青少年をめざしこそつて参加しましょう。

学校、PTAが中心となり警察、各種団体の協力をもとめ健かな明るい青少年の育成を念じつゝ。

朝日町青少年補導連絡協議会

公 明 選 挙

「話しあい」講習会を終つて

十一月二十二日公明選挙常時啓発事業の一端として「話しあい」についての講習会を地区青年団長、婦人会長さん達の参集をお願いし、果より係官川合主事さんをお願いして「話しあい」を一般選挙民の方々にすゝめる方法この運動の意義等について種々と指導していただきました。

「話しあい」の意義

民主政治の根本は選挙と云われる正しい民主政治は正しい選挙により始まつて、その実現を期される。正しい選挙を行うには、政治教養が必要であります。

政治教養を高めるには「話しあい」と云う方法は一番よいのでないかとされています。

さて「話しあい」とは、俗にいう炉端会議、井戸端会議のグループによる話しあい、種々身近な問題をとり上げて話しあい研究をするのであります。私達の日常生活は全部政治につながり、その生活をよりよくするには良い政治でなければなりません。

大体以上のやうな主旨を説明されました。次に話しあいの方法として、六六式討議と云うのと講壇式討議と

云うのを実際に行なつて散会しました。今後この「話しあい」を各地区において本日集つていただいた方々の指導と協力により実施してゆきたいと存じますので何卒皆様の御協力の程をお願いする次第であります。

選挙人名簿

確定人員

昭和三十三年九月十五日現在により調製する基本選挙人名簿を十二月二十日左記のとおり確定いたしました

一、基本選挙人名簿確定人員

山野中 投票区 一、一七〇人
全 第一 一、一七〇人
全 第二 一、一七〇人

全 第三 一、一七〇人
全 第四 一、一七〇人
全 第五 一、一七〇人

全 第六 一、一七〇人
全 第七 一、一七〇人
全 第八 一、一七〇人

全 第九 一、一七〇人
全 第十 一、一七〇人
全 第十一 一、一七〇人

全 第十二 一、一七〇人
全 第十三 一、一七〇人
全 第十四 一、一七〇人

全 第十五 一、一七〇人
全 第十六 一、一七〇人
全 第十七 一、一七〇人

全 第十八 一、一七〇人
全 第十九 一、一七〇人
全 第二十 一、一七〇人

全 第二十一 一、一七〇人
全 第二十二 一、一七〇人
全 第二十三 一、一七〇人

全 第二十四 一、一七〇人
全 第二十五 一、一七〇人
全 第二十六 一、一七〇人

全 第二十七 一、一七〇人
全 第二十八 一、一七〇人
全 第二十九 一、一七〇人

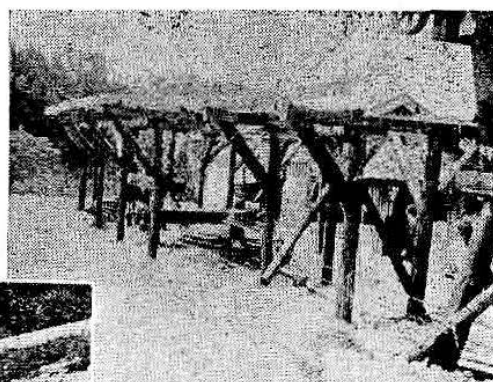
全 第三十 一、一七〇人
全 第三十一 一、一七〇人
全 第三十二 一、一七〇人

(選挙管理委員会)

統計調査並びに、中小企業総合基本調査を実施することになりました。

工業統計調査は、全国の製造業について、従業者数、原材料の使用額、有形固定資産の投資額等についてくわしく調べ、製造工業の面からわが国の経済活動の実態を明らかにする重要な統計をつくるために行われるもので、対象は、日本標準産業分類による製造業を主業とする工場、加

県下でもめずらしい山の荒廃地をもつ本町は年々県の直営事業として治山事業が施行され今年度には昨年四二万円で索道が架設された七重滝の五九二万円を筆頭に約一千三百万円の工事が竣工され

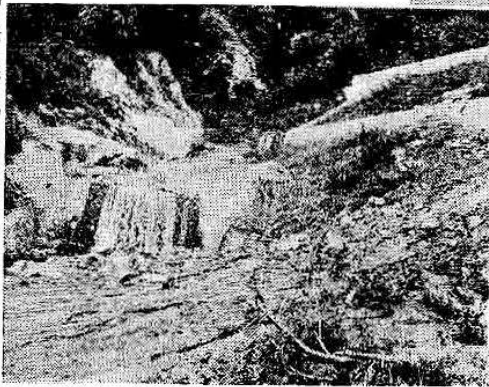


た。

此の事業は山地の荒廃を復旧し又防止し土砂の流出と川底の上昇を防止し治山と治水を図り下流に及ぼす災害を防止し農閑期の稼働に功を呈し緑したる朝日町建設のため一石二鳥の事業である。

歳末に際し末文年ら御協力下さいました町民の皆様には厚くお礼申し上げます。

産業課



写真は
築造された虎象尾谷取堤と
資材運搬に架設された索道

工業統計調査並に中小企業

総合基本調査の実施について

通産省では、昭和三十二年十二月三十一日現在で工業統計調査並に、中小企業総合基本調査を実施することになりました。

工業統計調査は、全国の製造業について、従業者数、原材料の使用額、有形固定資産の投資額等についてくわしく調べ、製造工業の面からわが国の経済活動の実態を明らかにする重要な統計をつくるために行われるもので、対象は、日本標準産業分類による製造業を主業とする工場、加



写真は竣工なった奥地林道

の指定で約一四万の企業を抽出選定いたします。富山県ではおよそ九〇〇、そのうち朝日町は七企業が調査されることとなります。

この調査で作成された統計は、通産省行政上の資料として、また中小企業対策をたてるための基礎資料として大いに役立つものと期待されています。

なお、これは、統計法による指定統計として知事の任命する調査員により行なわれるものです。従って、調査票を徴税等直接申告者に利害関係を生ずるような目的に使用したりその他不利益をもたらすようなことは絶対にありませんから、本調査の目的達成のため申告者の御協力をお願い致します。

朝日町水稻の奨励並に認定品種決まる

朝日町役場産業課農林係並に朝日地区農業改良普及員と協議の結果昭和三十三年度作付水稻の奨励並に認定品種を左記の通り決定、農米改良の推進と品種の統一を図る

奨励品種

早生種 豊年早生 越路早生

中生種 新六号

晩生種 黒部一号 しろがね

認定品種 山陰一七号

早生種 藤坂五号 農林一号

中生種 中新二〇三号 しんまさり

晩生種 やちこがね 昭和もち

農林三二号 こしほなみ

大正もち

奥地林道の開設着々進む

奥地林道の開設は先ず林道の開設から昭和二十五年より二十九年まで県の直営事業として一八〇七万円が投ぜられ二五〇〇米の開鑿工事が施行開設された。三十年より営林署の手に移り昨年まで三百米、今年度は三千四百米の開設に二千一六万余が投ぜられ此のたび完成された。

此の林道は小川元湯より越道峠（海拔九〇〇米）を経て黒部国有林北又谷に移り八千数百歩に眠る死蔵林材（推定三百万石）の搬出に又大連華山朝日岳白馬岳の登山観光道路

昭和卅二年度常住人口産業別調査実施

例年のとおり、十二月末日現在で県と市長村が協同して産業別常住人口を各地区の調査員によつて実施される。

調査要綱は次のとおりである。

一、調査の目的

市町村別に常住人口の分布及びその産業別構成を明らかにして、一般行政並びに産業経済活動のための基礎資料を作成するをもつて目的とする。

二、調査事項

- ① 普通世帯、準世帯の別
- ② 産業別世帯数
- ③ 男女別産業別就業者数
- ④ 男女別理由区分による不就業者数

黒部川冷水地帯土地改良区

総代補欠選挙当選者

十二月十七日執行の標記選挙における総代の当選者は左記のとおりであります。

第二十四選挙区（南保地区）

住所 氏名 年令

南保二、二五一 勝原伊次郎 60

五、一五九 大森 政治 57

第二十五選挙区（泊地区）

沼保七一五 大村 房治 59

横尾四四七 岡島 猛 49

右四名は無競争当選 左の一名は繰上当選であります。

第二十 選挙区（野中地区）

西中四六四 百石安次郎 60

（各選挙長）

富山県の水稲生産に関する方針

年頭に当り県が考へて居る水稲の生産に関する方針について申述べ農家の皆さんの協力をお願いしたい。近年の水稲反収の増加推移を地域別に見れば過去において最も反収の高かつた地域が停滞し、低収地域と云われていた地域の反収増加が著しく、むしろ前者を凌駕する位である。吾が朝日町についても此のことは云われる、こゝに於て県には水稲の五ヶ年増産計画を立てて之が実現に努力することになつたのである。

各地帯別に区分し増産対策を立て県民の協力を求めることになつた。即ち東部平坦 中部平坦 西部平坦 湿地地域 山麓地域 山間地域の六つに区分した。朝日町では東部平坦に、泊、五ヶ庄、大家庄



野中が含まれ、山麓地域に、境、宮崎、南保、山崎が含まれる五ヶ年生産計画は昭和三十一年を基準とした訳である。

三十二年 反収二石三斗一升
三十三年 二石四斗五升
三十四年 二石五斗三升
三十五年 二石六斗四升
二石七斗五升

を東部平坦地域の反収目標である。山麓地域は約一斗五升、低い目標、之れが目標反収を達成する為には次の技術改善対策が立てられた。

①品種 稲作不安定の要因は一般に生育後半特に収量決定期の気象、病害虫の異状災害による場合が極めて多い、したがって品種選択は収量は当然ながら強稈、耐病性が重視されなければならぬがこれが障害を受け易い時期を回避するためには

田植期 品種の早熟化による安定の基本線からさらに積極的増収をはかるためには当然早植による栄養生長の充実が必要になり、田植の最盛期を五月十五日から二十日にし度い育苗 田植期を促進するために保護苗代の導入が必要となる保温折衷苗

出穂期の意義は土地利便度の向上、農作業の調整にもまして大きい。現在、県に於て作付されている早中晩の割合は、早生二〇%、中生四〇%、晩生、四〇%である。晩生を、少くして早中生種を一〇%宛増加したい。朝日町の場合は、早生六七%、中生二八%、晩生五%である。之れを早生五〇%、中生三五%、晩生一五%位の作付割合とし度いものである。

施肥改善 レンゲの適量施用 三要素の不均衡は漸次是正されつゝあるが多肥の傾向が強く施肥法はなを改善される必要がある。

土壌調査に依る施肥法の実施、病害虫防除、二化メイ虫防除は一化期防除を重点にする。稲作後期の、穂首いもち病、ウンカ類、ヨコバイ類に対する薬剤防除を農作業化する。そのため部落生産組合単位に防除態勢の育成強化をはかる必要がある。

その他 栽植機式及密度、老朽化水田対策、湿田根腐れ対策、冷水害対策、除草剤の普及、晩植対策等に対し一段の工夫が考慮されるべきである。要するに昭和三十一年より二割の増産を企図しているのであるから吾々農家も各自の反収から確実に二割増産して行き度いものである。

朝日町水稲推奨品種を決定 朝日町の水稲生産の増加に米質の向上を企図して左記品種を推奨品種にしたので農家各位も品種の特異性を充分研究をお願いして栽培して増産して頂きたい。

推奨品種 豊年早生、越路早生 新六号、黒部一、しろがね 山陰一七号 準推奨品種 農林一、藤坂五号 中新二〇三、新優、やちこがね 農林三二、こしはなみ、昭和三、大正モ、越後ねばり

農業改良普及事務所 移転 このほど新築なつた朝日町の農業センターへ農業改良普及事務所を移転し地区農業改良に精進することになった。電話はさし当り朝日九二番の呼出しを願ひしているが近く朝日三〇九番が移転して皆様の連絡が出来るようになります。

表彰

議会事務優良者として 十一月十三日東京において開催された地方自治十周年記念式典の際に、当町役場職員二名、議会事務優良職員として全国町村議会議長会より表彰されました。

主事補 黒坂順平
書記 阿部時雄

飼育の注意

左記の野鳥を飼育してゆく方は許可証を持つていないと狩猟法違反に罰せられます。

許可証は役場へ百五十円と印鑑を持つていつて受けて下さい。

ヤマガラ、ウグイス、メジロ、オオルリ、コマドリ、マヒワ、ヒガラ、ホホシロ、ヒバリ其の他の野鳥。

歳末と防犯

入善警察署

みなさんの家庭防犯に手落ちはないでしょうか。あわただしい年の暮に入ると、とかく気ぜわしい思いをするうちに、自然防犯も生じがちになり、人の心もおしこまされてきます。ふだんにもまして盗み、たかり、暴力が増え、あぐくの果に殺人、強盗がおきるといふのがこの時期です。

昨年この暮に県下で殺人が三件強盗二件の兇悪犯をはじめ、窃盗が五一八件、傷害、恐喝など粗暴犯が一五一件と年間最高の犯罪がおきております。

今年こそ私達の町や村から被害にかかると云ふ不幸をなくしましょう。被害にかかつてからではおそすぎます。ひとりの力に限りがあるのです。みんなの力を合せることが必要です。それには身近にある防犯組合を私たちの力でささえ、組合を中心に防犯活動、防犯診断、夜警など自主防犯活動を強化することが大切です。

正月を目前にどうぞ棒に入られたりしてはせつかくの正月も真暗やみ備えあれば憂なしの「たとえ」とおりつぎのことに注意して明るく楽しい正月を迎えましょう。

家庭防犯 寝る前にもう一度戸締りを確かめましょう。

特にこのごろ農家の豊作をねらう米どろ棒がおきています。

おもてと離れてる納屋や土蔵の戸締りも忘れぬこと。

戸間のどろ棒を防ぐため「家をあけないこと」が一番肝心、ちよつとの外出でもラジオを鳴らすなどして人気がないと気付かれぬようにすること。

またまつた現金はたんす預金を許可しないものカナリヤ、ジウシマス、ブンチヨウ、オウム類。

金庫や金庫の防犯 大金をねらうどろ棒や強盗に備えよう。ことに客が混み合つたり、閉店まぎわの客足が遠ざかり、職員がホツとした時また夜の手のうすな時に一番ねらわれやすい。

警備員をふやして警戒を厳重にすること。

夜間の戸締りは特に厳重にしておくこと。

防犯ベルの取付や点検をしておくこと。

学校、事務所の防犯 ガラス窓などの戸締りが悪く、現金や写真機など金目のものの保管が不始末なためねらわれている。

帰宅時には、全員で戸締りを励行しよう。

宿直警備を強化して戸締りの点検深夜の巡視を行うこと。

機ひきだしに現金を入れておかないこと。

手提金庫や写真機など金目のものは必ず施錠のある安全な場所に保管すること。

警察へ協力 被害にかかつたら現場をそのままにしてすぐ警察へ届けましょう。